

KSN 通信 VOL.124

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

9月9日は、五節句のひとつ「重陽の節句」です。菊を用いて不老長寿を願うことから別名「菊の節句」といいます。古来より、奇数は縁起の良い陽数、偶数は縁起の悪い陰数と考え、その奇数が連なる日をお祝いしたのが五節句の始まりで、めでたい反面悪いことにも転じやすいと考え、お祝いとともに厄祓いもしていました。中でも一番大きな陽数(9)が重なる9月9日を、陽が重なると書いて「重陽の節句」と定め、不老長寿や繁栄を願う行事をしてきました。今では影が薄くなりましたが、五節句を締めくくる行事として、昔は最も盛んだったといわれています。



■ リサイクルニュース

平成 28 年度の食品廃棄物等の年間発生量及び食品循環資源の再生利用等実施率

農林水産省より、「食品循環資源の再生利用等実態調査結果」と「食品リサイクル法に基づく定期報告結果」を用いて推計された平成 28 年度の食品廃棄物等の発生量及び食品循環資源の再生利用等実施率が公表されました。推計値は下表のとおりになります。

業種	食品廃棄物等の発生量（単位：千トン）				食品循環資源の再生利用等実施率			
	28 年度	対前年増減率	(参考)27 年度	(参考)26 年度	28 年度	目標値	(参考)27 年度	(参考)26 年度
食品産業計	19,700	-2.0%	20,096	19,532	85%	—	85%	85%
食品製造業	16,167	-2.2%	16,533	16,055	95%	95%	95%	95%
食品卸売業	267	-9.2%	294	270	65%	70%	60%	57%
食品小売業	1,271	-0.3%	1,275	1,269	49%	55%	47%	46%
外食産業	1,994	-0.1%	1,995	1,938	23%	50%	23%	24%

■ 環境ニュース

「平成30年7月豪雨」及び7月中旬以降の記録的な高温の特徴と要因について

気象庁より、8月10日に開催された異常気象分析検討会（臨時会）の検討結果を踏まえた、「平成30年7月豪雨」及び7月中旬以降の記録的な高温の特徴と要因についてのとりまとめが公表されました。今回の西日本から東海地方を中心とした記録的な大雨の要因は、西日本付近に停滞した梅雨前線に向けて極めて多量の水蒸気が流れ込み続けたこと、また、記録的な高温は、太平洋高気圧と上層のチベット高気圧がともに日本付近に張り出し続けたことが要因とされています。これら一連の顕著な現象は、持続的な上層のジェット気流の大きな蛇行が繰り返されたことで引き起こされました。その背景として、地球温暖化に伴う気温の上昇と水蒸気量の増加に加え、今春以降持続的に、北半球中緯度域で大気循環が全体的に北にシフトしていたことに対応して、顕著に気温が高いことも影響したとされています。

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004